

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)グランドメゾン渡辺通2丁目計画 新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>4.0</b>	0.15	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.7</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1.2 遮音				<b>5.0</b>	0.50	<b>4.1</b>	0.50	
1 開口部遮音性能		T-2		<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能				-	-	<b>2.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		L-30		-	-	<b>5.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		L-40		-	-	<b>5.0</b>	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	<b>2.3</b>	1.00	<b>2.2</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.7</b>	0.50	
1 室温				<b>3.0</b>	0.63	<b>3.0</b>	0.63	
2 外皮性能		日本住宅性能表示「5-1断熱等級性能」における等級5相当		<b>3.0</b>	0.38	<b>5.0</b>	0.38	
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.8</b>	0.25	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 屋光利用				<b>3.6</b>	0.30	<b>2.9</b>	0.50	
1 屋光率		共用部: 2.0% ≤ 屋光率 < 2.5% 住居部: 1.5% ≤ 屋光率 < 2.0%		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.50	
2 方位別開口				-	-	<b>1.0</b>	0.30	
3 屋光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20	
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 屋光制御		住居部: カーテンと庇の2種類を組み合わせることでグレアを制御		<b>2.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能				-	-	<b>3.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.5</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00	<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		各住戸に1Gbitクラス(光回線)のブロードバンド設備を整備		<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00	
3 バリアフリー計画				<b>1.0</b>	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				<b>4.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観		住居部: 天井高2.7m		-	-	<b>5.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画		共用部: インテリアバースによる内装計画の事前検証の実施など		<b>4.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50	
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.30	-	-	<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.2</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		免震構造を採用		<b>4.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		品確法劣化等級における等級3相当		<b>5.0</b>	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>2.0</b>	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主な用途上位3種のうち、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用		<b>5.0</b>	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
3 電気設備				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		災害時にCATVにより情報が入手できる等		<b>4.0</b>	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.8	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり		-	-	4.6	0.50	
1 階高のゆとり	階高3m以上	-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	0.1 ≤ 壁長さ比率 < 0.3	-	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	植栽による良好な景観の形成等	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	3.7
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.71	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地により分別が容易にできる	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつ、GWPが50未満の断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率を参照値より抑制	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性にも配慮	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たす等	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	